

# 船橋市 交通安全対策部会 検討結果概要

令和3年（2021年）6月

船橋市

No	項目	
1	メンバーと部会の実施結果	
2	習志野台地区 の検討結果	(1) エリア全体の現状把握 (2) 当該エリアの課題と対策のコンセプト (3) 対策内容
3	塚田地区 の検討結果	(1) エリア全体の現状把握 (2) 当該エリアの課題と対策のコンセプト (3) 内容

# 1. メンバーと部会の実施結果

## 部会メンバー

道路安全診断（第三者による検討）を実施

### 委員

学識経験者（1名）※部会長

国土交通省  
(道路管理者) 千葉国道事務所 交通対策課

千葉県  
(道路管理者) 葛南土木事務所 維持課

千葉県  
(交通管理者) 警察本部 交通規制課  
(規制担当)

千葉県  
(交通管理者) 警察本部 交通規制課  
(信号担当)

船橋警察署 交通課

船橋東警察署 交通課

船橋市  
(道路管理者) 建設局道路部 道路建設課



### 道路安全診断

学識経験者・道路安全専門家・  
交通工学専門家 4名

道路設計技術者※) 1名

※) 交通工学研究会認定 (TOE・TOP取得) あるいは同等の資格保有者

## 部会の開催状況

検討エリア：2エリア（習志野台地区・塚田地区）

### 第1回

【室内会議：9/30】

- 対策エリアの選定方法及び結果の紹介  
⇒今年度の対策検討エリアの決定
- 対策エリアでの現況分析結果  
⇒現状把握及び追加分析の意見交換



### 第2回

【現地視察&室内会議：11/16】

- 現地視察（2エリア：習志野台地区・塚田地区）
- 習志野及び塚田地区での検討（ワークショップ形式）  
⇒問題箇所及び事故要因と対策の方向性

【現地視察】



【室内会議（ワークショップ）】



【ワークショップ成果】



### 第3回

【室内会議：3/8】

- 対策コンセプト・メニューの立案
- 対策を具体化する際の留意点



# 1. メンバーと部会の実施結果

## (1) 対策エリアの選定方法

### 【対策エリアの選定方法】

#### STEP ①：選定指標の設定・加点

場所把握の容易さやデータ整備状況を踏まえて、町丁目単位として評価する。

#### 【評価指標】

##### ①人口

- ・総人口：上位30位内 [1点]
- ・人口密度：上位30位内 [1点]  
市平均の2倍以上 [1点]
- ・子供の割合：市平均以上 [1点]
- ・高齢化率：市平均以上 [1点]

##### ②死傷事故（人身事故）

- ・全道路での件数：上位30位内 [1点]
- ・市道での件数：上位30位内 [1点]
- ・全道路での事故率：上位30位内 [1点]
- ・市道での事故率：上位30位内 [1点]  
市平均の500倍以上 [1点]
- ・市道事故の割合：市平均以上 [1点]

##### ③急減速挙動（ETC2.0データ前後加速度-0.3G以下）

- ・市道での件数：上位30位内 [1点]
- ・市道での事故率：上位30位内 [1点]

##### ④対策要望

- ・ゾーン30指定エリア：未対策[3点]
- ・地域・警察要望：5件以上[5点]、2件以上[3点]  
1件[1点]

#### STEP ②：対策優先度検討

評価指標①～④の各得点による総合評価での優先順位を検討し、上位に位置付けられたエリアを対策候補エリアとして選定

#### STEP ③：既存整備状況・計画等の確認

対策整備済あるいは計画策定済エリア等は除外

#### STEP ④：対策エリア決定&近隣エリア統合

隣接エリアの状況に応じてエリア統合して箇所を選定

### 【対策箇所の選定方法】

#### STEP ①：選定指標の設定

ピンポイント対策に向けて、交差点・区間単位として評価する。  
なお、対象は市道とする（国県道は対象外）。

#### 【評価指標：死傷事故（人身事故）】

- ・交差点：死傷事件数ワースト上位箇所
- ・単路：死傷事件数及び死傷事故密度の各点の合計  
[10位内：3点、50位以内：2点、100位以内：1点]

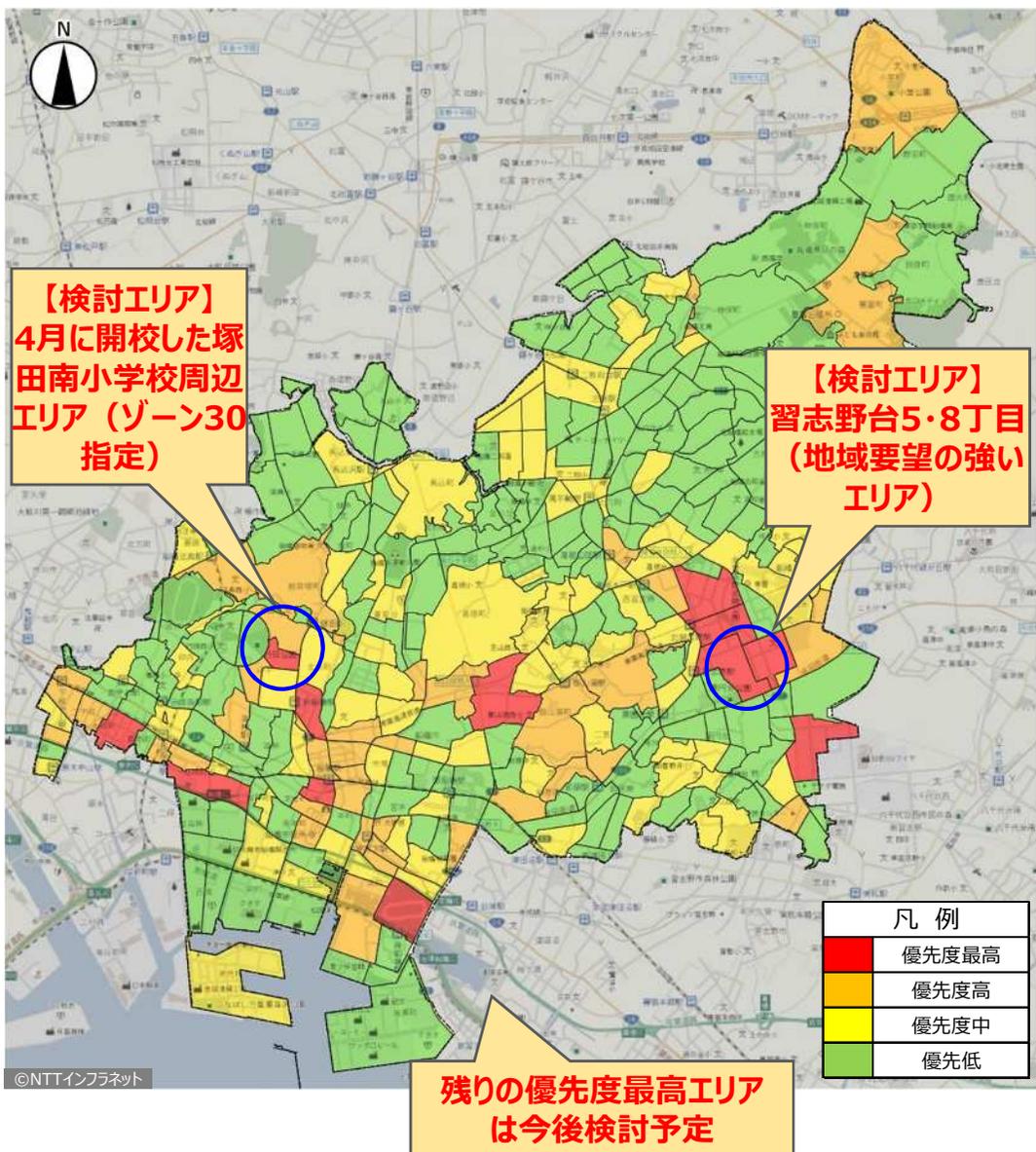
#### STEP ②：対策箇所の決定

ワースト箇所からの優先度検討を行い、上位箇所での対策実施状況・地域要望有無を踏まえて対策箇所を決定

# 1. メンバーと部会の実施結果

## (2) 対策エリアの選定結果

【対策エリアの選定結果】



【対策箇所の選定結果（市道）】

